

第23回JACR実務者研修会報告

福留 寿生 専門委員

三重県地域がん登録室



今回の実務者研修会では、「クイズ形式の参加型研修会」と「地域ブロック別研修会」の2つを企画し、全体で124名の方に参加していただきました。



クイズ形式の参加型研修会 表彰式

前半の「クイズ形式の参加型研修会」は、地域がん登録に関する幅広い知識を参加者全員で再確認することを目的としました。クイズ問題は、登録実務者、行政担当者、研究者など様々な職種が参加することに配慮して、栃木県立がんセンターの大木先生、愛知県がんセンターの伊藤先生、三重大学の福留の3名が問題を作成し、国立がん研究センターの柴田先生、宮城県立がんセンターの西野先生に助言をいただきました。各個人に電子投票機を配布して問題毎に投票していただき、投票結果の分布はその場でスライド上に投影し参加者全員で確認できるようにしました。集計結果の詳細に関してはいずれ改めてご報告したいと思います。実務者の正解率は予想以上に高く、参加者の皆様が日常実務や研修会を通じて知識の取得に努力されている成果であると思われます。一方で正答率の高くない分野もあり、集計結果に関しては今後の実務者研修の内容に反映していただけるよう研修会担当の先生方にご報告したいと思います。いろいろ反省点はあるのですが、参加した皆様からは概ね好評をいただくことができ、出題者側の私自身もとても勉強になりました。

後半の「地域ブロック別研修会」では、日頃顔を合わせる機会の少ない近隣県の実務者が集まって議論していただく場として企画しました。JACR理事会のメンバーに6つのブロック毎の代表世話人をお願いし、それぞれ独自のテーマで議論していただきました。がん登録推進法に関する話題や、地域がん登録データの利用といったテーマが中心となりましたが、各県よりたくさんの資料を持ち寄って頂いたブロックもあり、小グループにしたことでより活発な議論ができたのではないかと思います。この企画では、実務担当者の皆様に情報をお届けするための地域ブロック別メーリングリストが役に立ちました。今回の企画を地域ブロック単位での交流のきっかけにいただけると企画者としてとてもうれしく思います。



地域ブロック別研修会(九州・沖縄ブロック)

最後に、研修会の企画にご協力いただいた、理事会およびブロック別研修会世話人の皆様、および遠方より三重県にお越しいただいた参加者の皆様に、現地事務局一同心より感謝いたします。